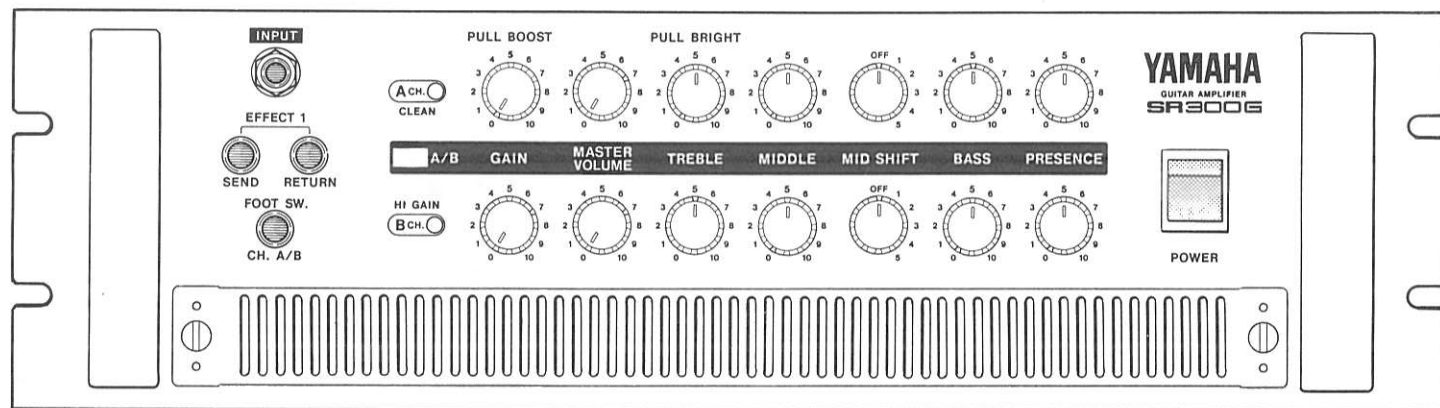


# YAMAHA

## GUITAR AMPLIFIER

# SR300G

### 取扱説明書



## ごあいさつ


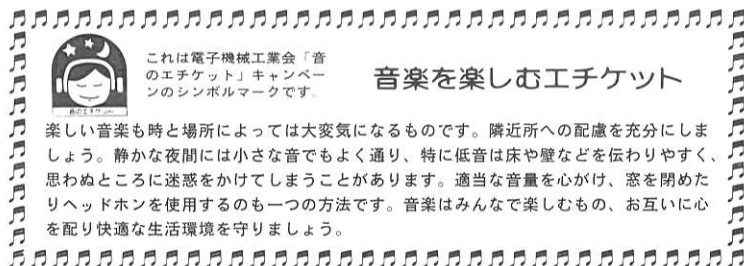
このたびは、YAMAHAギターアンプリファイアSR300Gをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

SR300Gは、最大300Wの実効出力を持つ、ラックマウントタイプのプロフェッショナルギターアンプリファイアです。

本機の優れた性能をフルに発揮させると共に、末永くご愛用いただくため、ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みくださいますよう、お願いいたします。

## 目次

SR300Gの特長	1
使用上の注意	1
フロントパネル	2
リアパネル	4
メンテナンス	6
仕様	6
ブロックダイアグラム	7
サービスについて	8



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

### 音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

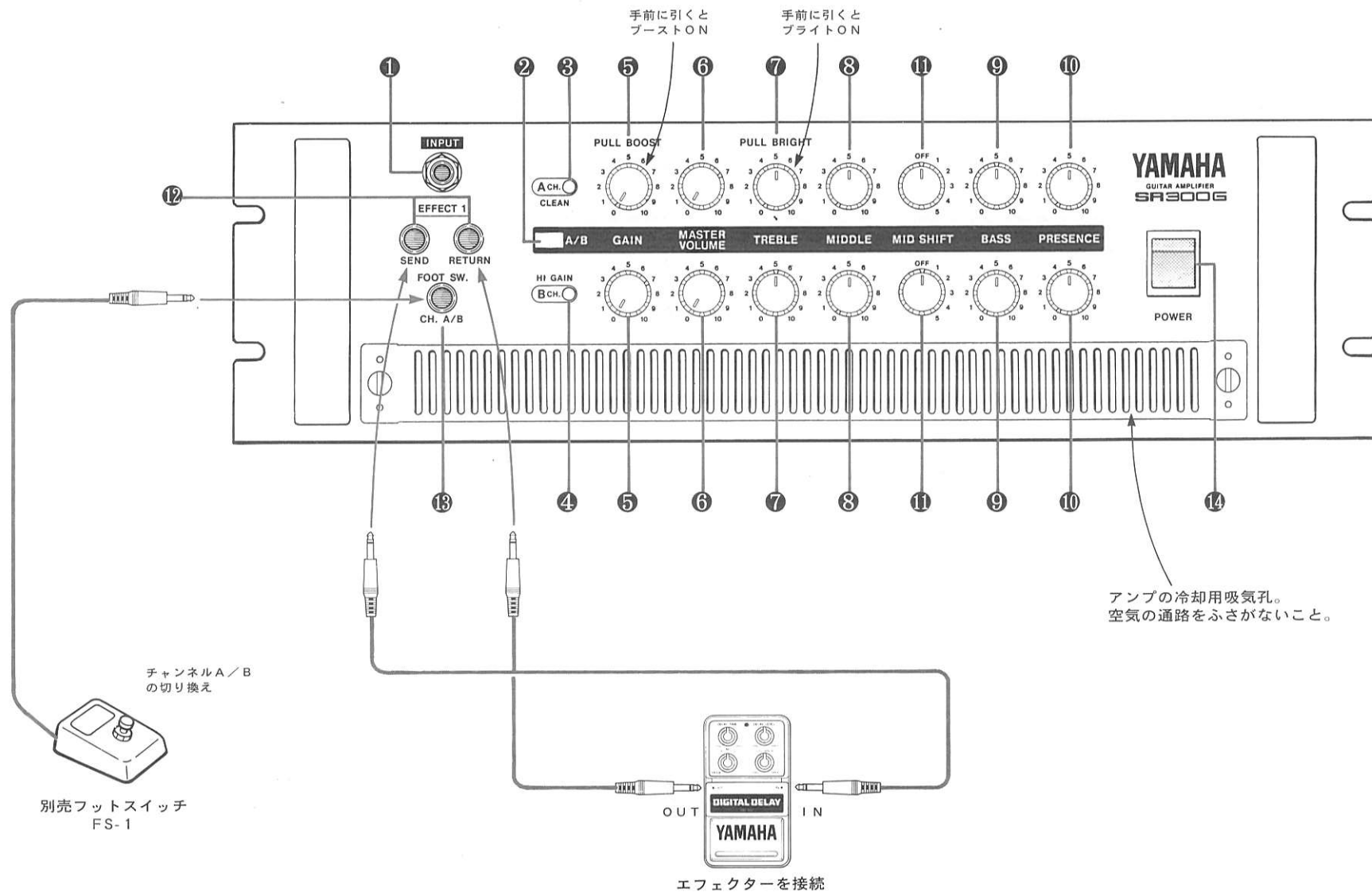
# SR300Gの特長

- ★ギターサウンドの核となるプリアンプ部にはチューブ（真空管）を、パワーアンプ部にはハイパワーMOS FETを採用。リアルチューブサウンドが高信頼性、高安定性のもと、ハイパワー300Wで得られます。
- ★19インチラックにマウント可能なプロフェッショナルデザイン（3Uサイズ）。エフェクター等と共にラックにセットアップすることができます。
- ★サウンドのキャラクターの異なるA/B 2つのチャンネルを、切り換えて使用することができます。  
Aチャンネルは、チューブの持ち味を活かしたブライツ&クリーンのキレのよいサウンドから、自然の高域の歪を活かしたクランチサウンドを生み出します。  
さらに“GAIN”コントロールに内蔵の“PULL BOOST”により、ピッキングニュアンスを活かしたナチュラルなオーバードライブサウンドが得られます。  
Bチャンネルは、ディストーション〜オーバードライブ専用のチャンネルです。3本の12AX7チューブをドライブさせ、ヘヴィ&タイトで強力なチューブディストーションを創り出します。小音量でもライブステージ同様のハード&ワイルドなサウンドが得られます。
- ★多彩な音作りが可能な、さまざまなコントロールを装備しています。  
BASS, MIDDLE, TREBLE, PRESENCEの4バンドトーンコントロールに加えて、中域の周波数特性カーブを微妙に変化させる5段階ミッドシフトスイッチを装備。さらにAチャンネルには、高音域を強調するPULL BRIGHTスイッチも装備しました。
- ★別売のフットスイッチを接続すれば、演奏中でもA/Bチャンネルの切り換えが足元で行なえます。
- ★トーンコントロール前でのSEND/RETURN端子（EFFECT 1）をフロント/リア両パネルに、トーンコントロール&マスターボリューム後のSEND/RETURN端子（EFFECT 2）をリアパネルに装備しました。イメージするサウンドを作るために最適なポジションにエフェクターをセットすることができます。リアパネルのEFFECT 2のSEND端子はプリアンプアウトとして、RETURN端子はメインアンプインとしての使用もできます。
- ★SLAVE OUT端子を装備。ミキサーへのライン送りや、アンプの増設用出力として使用できます。
- ★アンプ内の温度を感知して自動的に作動する冷却ファンを装備。長時間の使用でも安定した動作を約束します。

# 使用上の注意

- ◆次のような場所でご使用になりますと、故障の原因となりますのでご注意ください。
  - 直射日光の当たる場所や暖房器具のそばなど
  - 温度の特に低い場所、または高い場所
  - 湿気やホコリの多い場所
  - 振動の多い場所
- ◆スピーカー等の損傷を防ぐため、接続コードの脱着時や電源のON/OFF時には、A/B両チャンネルのMASTER VOLUMEおよびGAINを必ず反時計方向に回し、音量を“0”にしてください。
- ◆本機とスピーカーとの接続は、必ず電源をOFFにしてから行なってください。
- ◆本機は日本国内仕様です。必ずAC100V、50/60Hzの電源コンセントに接続して使用してください。
- ◆ヒューズ交換の際には、必ず当社規定のものをご使用ください。
- ◆リアパネルにあるAC OUTLETは、2つの消費電力合計300Wまで供給できます。これ以上の消費電力の機器は接続しないでください。
- ◆スイッチやツマミ類に無理な力を加えることは避けてください。
- ◆物をぶつけたり、落としたりの乱暴な取り扱い、製品に悪い影響を与え、性能を劣化させますので、ていねいにお取り扱いください。
- ◆安全のため、落雷の恐れのある場合は電源コンセントから電源プラグを抜き取ってください。
- ◆雑音の原因となるネオンや蛍光灯からは十分に離してご使用ください。
- ◆故障や感電の原因となりますので、ケースを開けたり改造しないようにしてください。
- ◆ベンジン、シンナーなどの溶剤でふくと、変質したり変色の原因となりますので、お手入れの際は必ず柔らかい布でカラぶきしてください。

# フロントパネル



### ① INPUTジャック

入力用ジャックです。ギターをここに接続します。

### ② チャンネル切り換えスイッチ

チャンネルA/Bを切り換えるスイッチです。

※フットスイッチでチャンネルを切り換えることもできます。→⑬ FOOT SW. ジャック

### ③ Aチャンネルインジケータ

Aチャンネルが選択されている時に点灯します。

GAINツマミによりBOOSTがONになっている時には赤色に点灯し、BOOSTがOFFになっている時には緑色に点灯します。

### ④ Bチャンネルインジケータ

Bチャンネルが選択されている時に赤く点灯します。

### ⑤ GAINコントロール (A CH.はPULL BOOSTスイッチ付)

各チャンネルのディストーションのかかり具合を調整します。

ツマミを右へ回すほどディストーションが強くなります。

また、Aチャンネル使用時にツマミを手前に引くと、ブースト機能がONになり、中域を強調したコシのあるディストーションサウンドになります。

### ⑥ MASTER VOLUMEコントロール

サウンドメイクした信号の状態を変えずにトータルの音量を調整します。

ツマミを右へ回すほど音量が大きくなります。

### ⑦ TREBLEコントロール (A CH.はPULL BRIGHTスイッチ付)

高域の音質を調整します。

また、Aチャンネル使用時にツマミを手前に引くと、ブライツ機能がONになり、高域が強調されたブライツなサウンドになります。

### ⑧ MIDDLEコントロール

中域の音質を調整します。

### ⑨ BASSコントロール

低域の音質を調整します。

### ⑩ PRESENCEコントロール

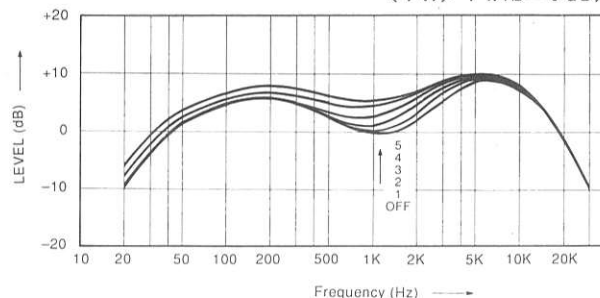
TREBLEよりもさらに高い超高域の音質を調整します。

### ⑪ MID SHIFTスイッチ (OFF, 1~5)

エレキギターのサウンドキャラクターの核となる中域の周波数特性カーブを変化させることができます。

OFFでノーマル。1~5と数字が大きくなるほど中域が出てきます。

MID SHIFTスイッチの特性  
(1W/1kHz = 0dB)



### ⑫ EFFECT 1 SEND/RETURNジャック

4バンドトーンコントロールの前に、外部エフェクターを挿入するためのジャックです。

エフェクトのかかったサウンドを、4バンドトーンコントロール&ミッドシフトスイッチで調整することができます。

※フロントパネル、リアパネル両方のEFFECT 1ジャックに接続されている場合は、フロントパネル側が優先され、リアパネル側へは信号が出力されません。

### ⑬ FOOT SW. ジャック (CH.A/B)

別売のヤマハフットスイッチFS-1をここに接続すると、足元でチャンネルA/Bの切り換えることができます。

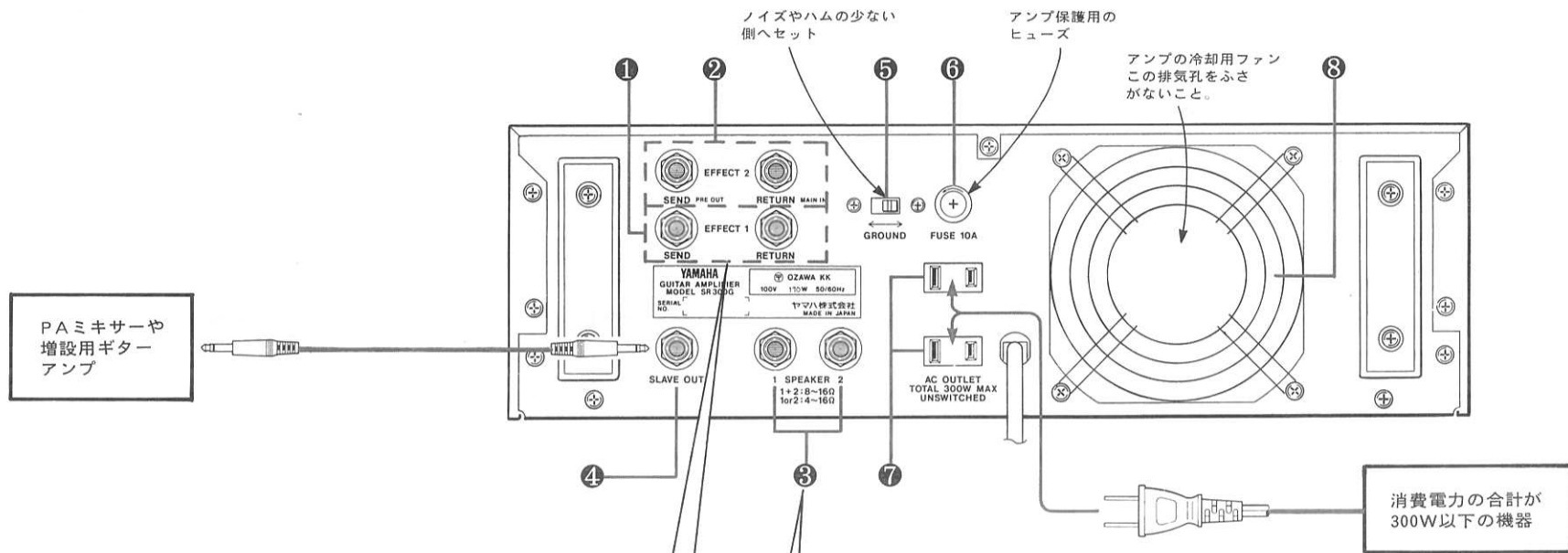
※フットスイッチ接続中は、チャンネル切り換えスイッチ②でのチャンネル切り換えはできません。

### ⑭ POWERスイッチ

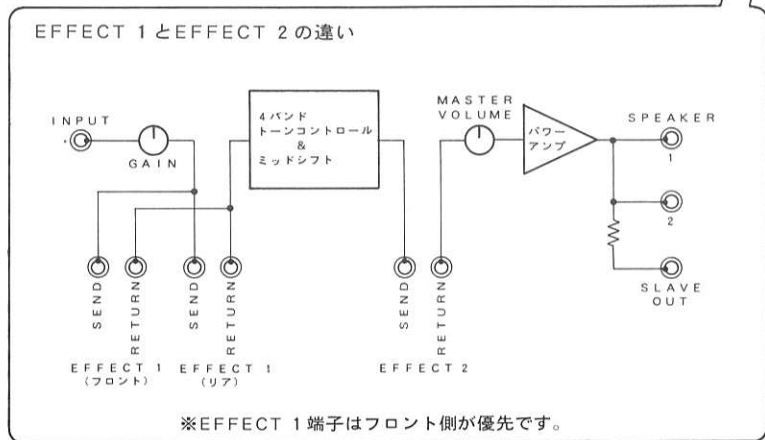
電源スイッチです。ONにするとスイッチのランプが点灯します。

※電源を入れる前に、必ず両チャンネルのGAIN、MASTER VOLUMEツマミを“0”にしてください。

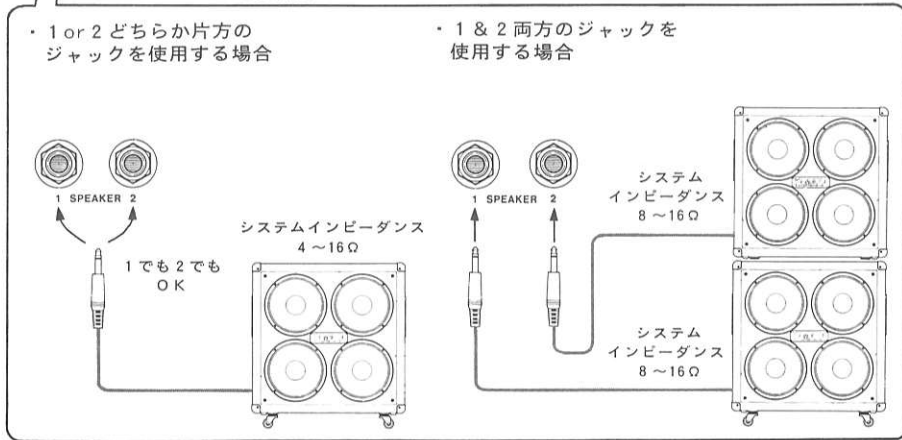
# リアパネル



## エフェクターを接続



## スピーカーを接続



### ①EFFECT 1 SEND/RETURNジャック

4バンドトーンコントロールの前に、外部エフェクターを挿入するためのジャックです。

エフェクトのかかったサウンドを、4バンドトーンコントロール&ミッドシフトスイッチで調整することができます。

※フロントパネルのEFFECT 1 SEND/RETURNジャックと同じものですが、フロントパネル、リアパネル両方のEFFECT 1ジャックに接続されている場合は、フロントパネル側が優先され、リアパネル側へは信号が出力されません。

### ②EFFECT 2 SEND (PRE OUT)/RETURN (MAIN IN) ジャック

MASTER VOLUMEとパワーアンプの間に、外部エフェクターを挿入するためのジャックです。

SR300Gでトーンセッティングした信号にエフェクトをかけることができます。

また、本機でサウンドメイクした信号をSEND (PRE OUT) ジャックより出力したり、外部のプリアンプでプリコントロールした信号をRETURNジャックに入力 (MAIN IN) することもできます。

※EFFECT 1ジャックと同時に使うこともできます。

### ③SPEAKERジャック (1, 2)

1と2のジャックは中で並列に接続されており、2台以上のスピーカーを接続することができます。

1または2のどちらか片方のジャックを使用する場合は、システムインピーダンスが4~16Ωのスピーカーを、1と2の両方のジャックを使用する場合は、それぞれのジャックにシステムインピーダンスが8~16Ωのスピーカーを接続してください。

※誤った接続は故障の原因となります。ご注意ください。

※接続するスピーカーは、本機の出力に充分対応できる許容入力を持ったものに限ります。

### ④SLAVE OUTジャック

SPEAKERジャック③出力と同じ信号がラインレベル (-15dBm) で出力されます。

MASTER VOLUMEで音量調整され、パワーアンプを通った信号なので、ミキサーへのライン送りや、アンプ増設用のアウトとして使用できます。

### ⑤グラウンド切り替えスイッチ

AC電源のアースの極性を切り替えるスイッチです。

ハムや雑音小さい側にスイッチをセットしてお使いください。

### ⑥ヒューズ

アンプの保護用のヒューズです。

ヒューズ交換の場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、当社規定のものと交換してください。

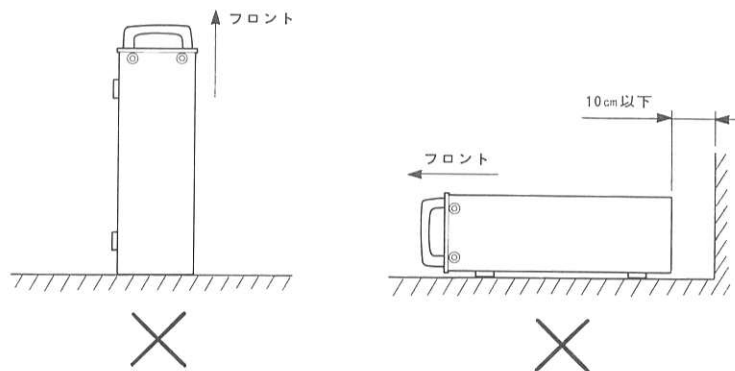
交換してもすぐに切れてしまう場合には故障が考えられますので、お買い上げ店もしくは最寄りのヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点にご相談ください。

### ⑦ACアウトレット

どちらも非連動式のACコンセントです。両方に接続する機器の合計消費電力が300W以下になる範囲でお使いください。

### ⑧冷却用ファン

アンプの放熱用冷却ファンです。アンプ前面下部のスリットから吸気し、後面より排気しますので、アンプの前面および後面はふさがらないでください。



### ※ラックマウント時の注意

アンプをラックにマウントして使用すると、アンプから発生した熱でラック内の空気が温められ、機器の環境温度を上げることになります。

本機をラックへマウントして使用する場合は、以下の事項を守ってください。

- 本機のリアパネルとラック後面との間は、10cm以上開けてください。
- ラックの設置場所は、通風性の良い所を選んでください。
- 移動用ケース (ポータブルラック) に本機を1台のみ収納する場合は、ラック後面を全面開放してください。

# メンテナンス

## ●フィルターのお手入れ

フロントパネルの吸気孔には、ホコリ等の浸入を防ぐためにフィルター（防塵シート）が設けられています。この防塵シートの目が詰まると十分な空冷ができなくなりますので、定期的にチェックし汚れをこまめに取り除いてください。

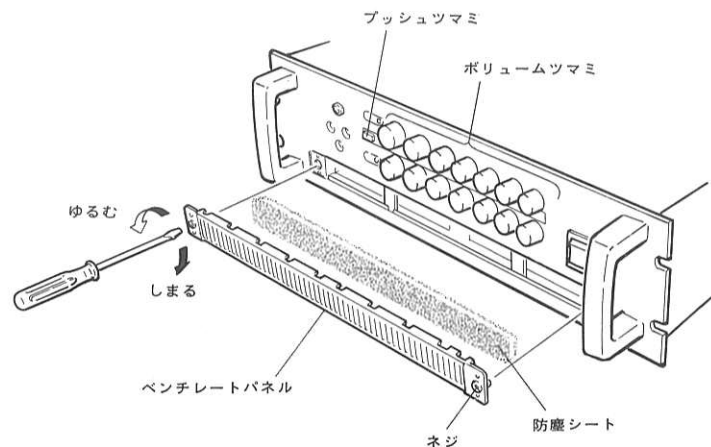
1. アンプの電源を切り、AC電源ソケットから電源プラグを外します。
2. ベンチレートパネルを止めているネジ（2本）をマイナスドライバーで外し、ベンチレートパネルを外します。
3. 防塵シートを取り外して、ホコリを取り去ります。汚れがひどい場合は水洗いしてください。  
防塵シートを水洗いした場合は、必ず十分に乾かしてからセットしてください。（絶対に濡れたままでセットしないでください。）
4. 防塵シートとベンチレートパネルを元のようにセットします。

## ●補充用パーツのご案内

右表の部品を補充用パーツ（別売）として用意しておりますので、必要な場合は、お買上げ店または最終ページのヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点までお申し付けください。

※パーツは単品で販売しております。

パーツ名	パーツNo.
ボリュームツマミ	VL767300
プッシュツマミ	VB469400
防塵シート	VL767500



# 仕様

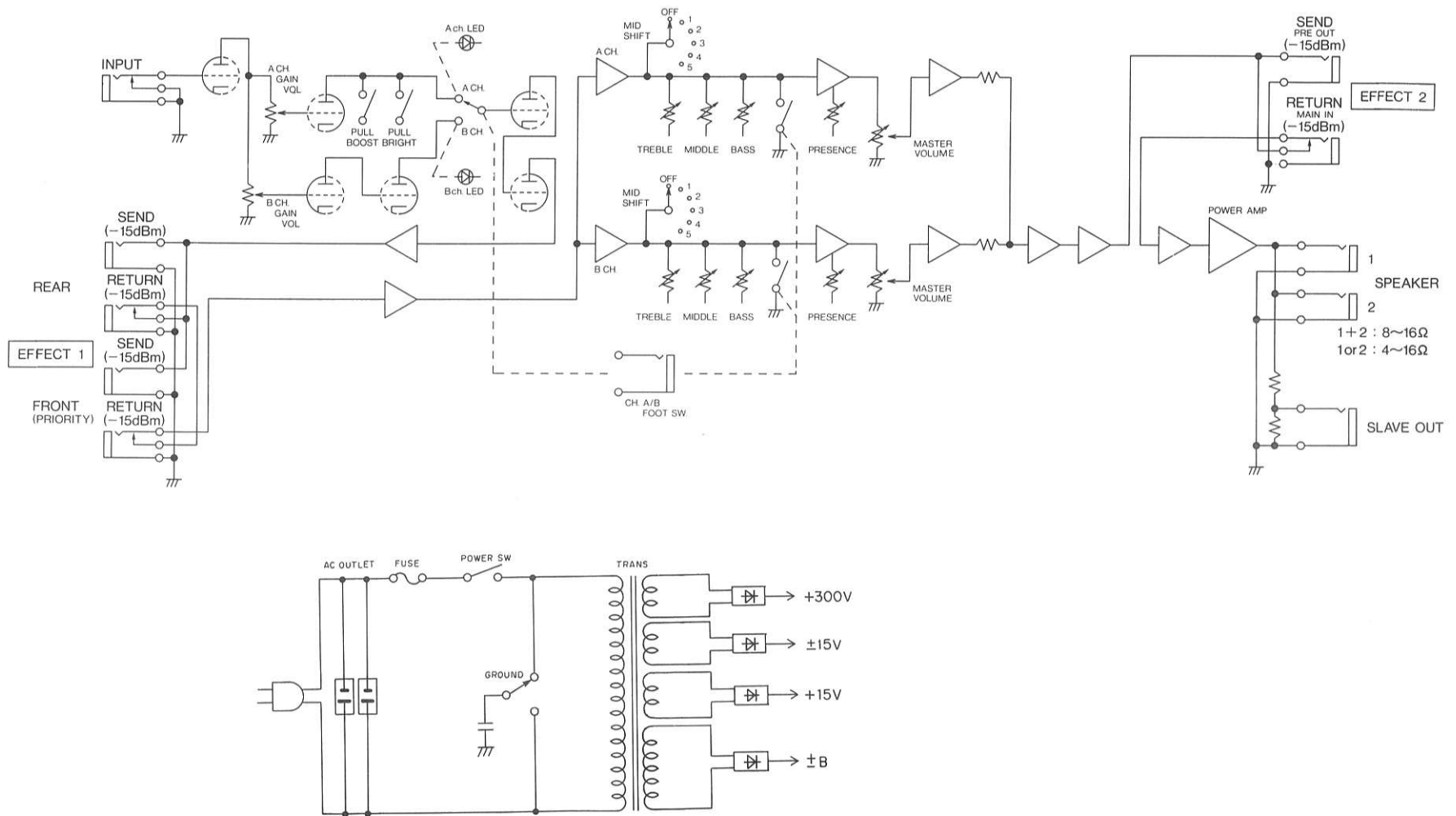
定格出力（4Ω、T.H.D. 15%）	300Wr.m.s.
入力感度／インピーダンス（BCH.） （TONE全てフラット、GAIN& MASTER VOLUME最大。1kHz） INPUT	-78dBm / 1MΩ
エフェクトループ EFFECT SEND EFFECT RETURN	-15dBm（10kΩ負荷） -15dBm / 100kΩ
T.H.D.（4Ω、100W、1kHz）	0.1%以下（パワーアンプ部）
残留ノイズ （VOL.最小、フィルター無）	-46dBm（4mV）以下
PULL BOOST（ACH., 1kHz）	+8dBアップ
PULL BRIGHT（ACH., 10kHz）	+10dBアップ
トーンコントロール	
PRESENCE	+9dB, -2dB（基準：10kHz）
TREBLE	+10dB, -5dB（基準：5kHz）
MIDSHIFT 1	+0.5dB（基準：1kHz, OFF）
2	+2.0dB（基準：1kHz, OFF）
3	+3.0dB（基準：1kHz, OFF）
4	+4.0dB（基準：1kHz, OFF）
5	+5.0dB（基準：1kHz, OFF）
MIDDLE	+8dB, -8dB（基準：2kHz）
BASS	+3dB, -18dB（基準：100Hz）
その他の機能	チャンネル切換用フットスイッチ端子
使用ヒューズ	10A 1次側
定格電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	170W
寸法（W×H×D）	480×143×460（mm）
重量	20kg

● 0dB - 0.775Vr.m.s.

● 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。



# ブロックダイアグラム



# サービスについて

本機の保証期間は、保証書によりご購入から1ヶ年です。(現金、ローン、月賦などによる区別はございません。) また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

## ●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客様のご住所、お名前、お買上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。

## ●保証書は大切にしましょう!

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客様にご購入の日から向こう1ヶ年間の無償サービスをお約束申し上げるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただくことになります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように充分ご配慮のうえで保管してください。

また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種別の判別や、サービス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

## ●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買い上げ店にご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂く場合もあります。

またお買い上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買い上げ店あるいは右記のヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

## ●保証期間後のサービス

満1ヶ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低8年となっています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。)

そのほかご不明の点などございましたら、右記のヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点までお問い合わせください。

## ヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点

[修理受付および修理品お預り窓口]

北海道サービスセンター	〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL(011)513-5036
仙台サービスセンター	〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL(022)236-0249
新潟サービスセンター	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL(025)243-4321
松本サービスステーション	〒390 松本市大手2-5-2 中村屋ビル3F TEL(0263)32-5930
東京サービスセンター	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F TEL(03)3255-2241
首都圏サービスセンター	〒211 川崎市中原区本月1184 TEL(044)434-3100
浜松サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL(053)465-6711
名古屋サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230
大阪サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内 (06)877-5262
神戸サービスセンター	〒650 神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ(株)神戸店7F TEL(078)321-1195
四国サービスセンター	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ(株)高松店內 TEL(0878)22-3045
広島サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2-27-39 TEL(082)874-3787
九州サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2134
[本社] 技術営業部 テクニカルセンター	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL(053)465-5195

## ヤマハ株式会社LM営業部

ギター・ドラム営業課	〒430 浜松市中沢町10-1 TEL(053)460-2431
首都圏営業課	〒104 東京都中央区銀座7-11-3 (矢島ビル) TEL(03)3574-8592
関東営業課	〒104 東京都中央区銀座7-11-3 (矢島ビル) TEL(03)3574-8592
大阪営業課	〒542 大阪市中央区南船場3-12-9 (心斎橋プラザビル東館) TEL(06)252-5231
名古屋営業課	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL(052)201-5199
九州営業課	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2130
札幌営業課	〒064 札幌市中央区南十条西1-1 (ヤマハセンター) TEL(011)512-6113
仙台営業課	〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 TEL(022)222-6146
広島営業課	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 (ヤマハビル) TEL(082)244-3749

※住所及び電話番号は変更になる場合があります。

**YAMAHA**

**ヤマハ株式会社**

LM営業部

ギター・ドラム営業課

〒430 浜松市中沢町10-1

TEL.053(460)2431